

陽春を迎え、成瀬の杜の櫨の木々も、新たに芽吹く季節となりました。

本日は、学校運営連絡協議委員のみなさまをはじめ、多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、このように盛大な入学式を挙行できますことは、私たち教職員一同にとりまして、大きな喜びでございます。厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございませう。

先ほど入学を許可いたしました、二百七十八名の新入生を確かにお預かりいたしました。本校の教職員を代表いたしまして、私どもの持てる力を最大限に発揮し、一人ひとりの自己実現に向け、全力で指導に当たりますことを、お約束いたします。

さて、新入生のみなさん、みなさんは今、この晴れの場にあつて、本校での高校生活に、様々な期待を持ち、胸を膨らませていることと思ひます。

みなさんの入学に当たり、まず初めに、本校の沿革と特色について、簡単に紹介いたします。

本校は、昭和五十二年の設立以来、「高い知性と創造力を培う」「広い視野をもち、品格のある人間性を養う」「若さにあふれる健康な身体をつくる」を教育目標に、主体的に自らの人生を切り拓き、グローバルな視点をもって地域及び社会に貢献するリーダーを育成する学校です。

その思ひは校章にも表されております。天に向かつて高く伸び、大きく枝を張る「ケヤキ」の大樹と八角に磨かれたダイヤモンドがあしらわれた校章には、「珠玉、磨きて光りあり」の校訓がこめられております。

また、三本のケヤキにあらわされる「動」、ダイヤモンドにあらわされる「静」の調和の中には、その達成の願ひを象徴する「成る」が配されております。体力と知力そして徳力を兼ね備えて端正に輝く生徒になるという思ひです。

学校生活は、成瀬グランドデザインに基づき、日々の教育活動をとおして、思考力や主体性を養い、自立と責任を身に着けながら、次のステップに向けての自己実現を図っていきます。成瀬高校での自己実現は、まずは日々の授業・行事・委員会・部活動などの教育活動を基本に、東京都教育委員会指定の「英語教育研究推進校」「理数研究校」「海外学校間交流推進校」の3事業、総合的な探究の時間「成瀬BBプロジェクト！」などを通じて、具現化されて行くこととなります。

このように特色ある成瀬高校で、今日から高校生として歩み始める新入生のみなさんが、充実した学校生活を送り、自己実現を果たしていくために、心がけて欲しいこととお話します。

みなさんは、苦しかった受験生活を終え、ゴール地点にたどり着いた思いで、今、歩んできた道のりを振り返っていると思います。

運命とは不思議なものです。今、こうしてみなさんが成瀬高校にいることは一種の運命です。もしかするとずっと前から予定されていたのかもしれませんが。

人は、運がいい、運が悪いとよくいいます。運とは外の現象ではなく、心の中のものです。この運命には、「宿命」と「立命」があります。自分で自分の運を切り拓いていくことを「立命」といいます。逆に運命に支配されることを「宿命」といいます。

「運命は心の中にある。」といったのは、かの有名な詩人ヘルマン・ヘッセです。運命とは外部から行使される現象ではありません。心のありようがみなさんの運命を切り開いていくのです。

2022 FIFAワールドカップは数々の感動を与えてくれました。アディショナルタイムになってまで見る人に感動を与え続けました。選手たちは最後の一瞬まで自分たちのチームの勝利を信じて戦っていました。

「三苦選手の1ミリ」のシーンは特に印象に残っています。

三苫選手がゴールライン際での折り返しのボールを上げ、田中選手がゴールを決めた瞬間、場内は一瞬静まり返りました。VAR判定の結果、ボールが1ミリゴールラインにかかっていたのです。最後まであきらめない姿がよい結果を招くことを教えてくれました。

こうしてピッチに立っている選手たちは、本当にサッカーが「好き」だから幾多の困難を乗り越えその場に立っているのです。「好き」なことの中に自分があるとワクワクして生命力が湧いてきます。

どうかこの成瀬高校での学校生活の中で、自分の「好き」なことを見つけてください。たった1回だけの自分の人生です。他人がどう見ているかなど気にしないことです。他人と比較しないことです。

自らの情熱を裏切らない人生は、たとえ達成したことが小さくとも生きるに値する人生です。目標は早いうちに立てることです。目標が高ければ高いほどその頂を目指す心構え、意識が違ってきます。意識が違うことで行動も変わってきます。

このように、充実した学校生活を送り、自己実現を果たしていくための心がけとして、「Don't place limits on yourself」という言葉を贈りたいと思います。

最後に、保護者の皆様に一言お願い申し上げます。

学校教育の基盤は、学校と家庭の双方がその役割をしっかりと認識し、そして相互の理解と信頼を築くことにあります。三年後の卒業式において、成瀬高校を卒業して本当に良かったとお子様は胸を張って言えるよう、教職員一同、全力で努力する所存です。どうぞ保護者の皆様におかれましても、本校の教育活動に対する御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本日入学した新入生のみなさん一人ひとりにとって、本校での三年間が、健康に恵まれ、実り豊かな高校生活となる

ことを心より祈念し、式辞といたします。

令和五年四月七日 東京都立成瀬高等学校長 高野 修一